

特集

山本地区・財田地区の小学校が4月に開校

伝統と誇り 感謝を胸に 明日へ

4月から開校する山本地区と財田地区の新小学校の校名が決まりました。

子どもたちのより良い教育環境の整備と統合を円滑に進めるため、

両地区では平成24年から児童の保護者や住民代表で構成する「学校再編整備地域協議会」を設置し、協議、検討を重ねてきました。

新小学校の開校を間近に控え、学校の再編を検討してきた

当協議会発足時の会長に当時を振り返ってもらいます。

そして、地域の子どもたちと身近に接してきた

交通指導員の思いを伺います。



校名 三豊市立 財田小学校
校訓 支え合い 学び合い たくましく



校名 三豊市立 山本小学校
校訓 やさしく 清々しく しなやかに



ま〜がれっと通信 11

三豊市を マーガレットでいっぱいしよう

横山市長による三豊産花きのトップセールスが1月18日早朝、東京都中央卸売市場大田市場で行われました。

競り開始前、市長が「三豊のマーガレットは生産量日本一。花びらが落ちないということで、受験生にも人気です。三豊の花をよろしく願います」と仲買人にあいさつ。生産者、JAや県の職員とマーガレットをはじめ、金魚草やランキュラス、デルフィニウムをPRしました。

花びらが散ったり落ちたりしないことから、「受験の縁起物」としても知られるマーガレット。受験を控えた皆さんに贈ってみたいいかがですか。



三豊市の人口

※平成28年1月1日現在 ()内は前月比
世帯数 23,350 世帯(-39) 総人口 65,311 人(-88) 男 31,120 人(-37) 女 34,191 人(-51) ※香川県人口移動調査による

広報 みとよ 2月号
平成28年

目次
contents

- 3 新小学校の校名が決定 「伝統と誇り 感謝を胸に 明日へ」
- 8 eM's Information みとよくらしのおしらせ①
火葬場の運用変更 / 人権擁護委員 / 要介護4、5の認定を受けている人へ / 補助金の実績報告 / 廃校予定地の利用提案募集 / 学校体育施設の年間利用について / 申告相談
- 12 みとよHOT ほっとNEWS(ホットニュース)
- 14 eM's Information みとよくらしのおしらせ②
国民年金 / 市営住宅入居者募集 / 奨学金貸付希望者募集 / 健康課からのお知らせ
- 17 eM's 深読みひろば
じんけん探訪 / まちづくり推進隊
- 18 2月のお知らせ
募集 / 相談 / 講座・教室 / イベント / 納税のお知らせ / マリンウェーブ情報 / 国際交流協会
- 21 保健・相談
- 22 ここ笑み通信 ~子育てするなら三豊が一番!~
予防接種 / 保育士募集 / eM's Smile ふおとぎやらい / 乳幼児健診 など
- 24 みとよ写真帳 / 編集後記

表紙

今月の市民力



「学校や地域の皆さんに喜んでもらえました。地域みんなの思い出に残る最後の地区体育祭に携われたことをうれしく思います。今後、地域と子どもを結ぶ懸け橋として活動していきたいです」と意気込みを語る会員の方。郷土愛あふれる活動は、今後も続きます。

大野小学校の校舎周辺に飾り付けられた富士山などの巨大オブジェ。昨年9月に開かれた大野地区体育祭でお披露目されました。手掛けたのは、財田大野グラウンドゴルフ同好会の有志約30人です。体育祭の8カ月前から週2回の練習後にみんなで協力しながら制作してきました。地域を盛り上げようと3年前から始まった制作活動。今年は、高さ5メートル、最大幅約10メートルの富士山のほか、東京スカイツリーやリニアモーターカー、くす玉、たるみこしを作り、体育祭を華やかに彩りました。材料の竹は、自分たちで山から切り出し、屋外での作業が大半を占めるなか、暑さや寒さにも負けず取り組んできました。



◀「思い出は色あせない」と誓う児童代表



◀神田小学校の歩みを紹介する児童

閉校記念式典



▶児童・保護者による校歌で芸能まつりを締めくくりました



▶写真などを見ながら当時を振り返る参加者

大野小学校

11月21日

式典では、児童代表が感謝と決意を述べ、併せて129年の歴史を映像で振り返りました。閉校記念文化芸能まつりでは、閉校にちなんだ劇や歌も披露され、最後に校歌を合唱しました。

神田小学校

11月21日

式典では、児童が神田小学校の歩みを紹介したほか、思い出を発表。卒業生から児童にエールも送られました。昔の写真や文集なども展示され、参加者は懐かしそうに見ていました。

これまでと変わらぬ愛情で見守ってほしい

寂しさや不安
全ては子どもたちのために

「子どもの数が少ない現状に統合はやむを得ないと理解しつつも、寂しさがあるなかでのスタートでした」と語るのは、財田地区学校再編整備地域協議会の発足当時、会長を務めた星川さん。当初は不安も多かったと言います。

「会では、さまざまな意見が出ました。全てが子どもや地域のことをしっかり考えたものです。それぞれの意見を理解しながら、検討を重ねていきましたね」

地域の一体感を醸成

統合が子どもたちと地域に新しい変化を生むと星川さんは語りま

す。「小学校が一つになることで、『中学校入学時に新たな気持ちでスタートする』という良い意味での環境の変化はなくなります。ですが、大勢の子どもと一緒に生活し、社会性を育むということは、未来を担う子どもたちにとって、



財田地区学校再編整備地域協議会 初代会長 星川幸雄さん(70)

とても大切なことです。

また、保育所・幼稚園から中学校まで一つになり、地域の一体感がより一層深まるような気がしますね」

地域全体で

子どもを支えよう

「子どもたちを取り巻く環境は、変わります。そこは、地域全体でフォローしていく必要があると思います。私自身、小学校のそばに住んでいるので、統合による寂しさはあります。それは、他の人も同じだと思います。でも、地域の子どもたちを、これまでと変わらぬ愛情で見守ってほしいと思います。そして、新小学校に通う子どもたちには、友達をたくさんつくり、精一杯体を動かし、大きく育ってほしいですね」

閉校記念式典

財田上小学校

11月15日

式典後の子ども祭りでは学年ごとに劇や歌を披露しました。卒業生による昔の学校生活の講話、けん玉やメンコ、あやとり遊びなど昔の遊びを通じたふれあい活動も行われました。



◀財田町が生んだ偉人の大久保謙之丞を紹介する劇

財田中小学校

11月14日

式典では、6年生が閉校する学校への思いを発表。その後、懐かしい学校給食を味わったり、竹細工や料理、茶道などの分野に分かれて3世代で交流したりしました。



◀6年生は笑顔でさようならを言いたいと締めくくりました



▶きな粉揚げパンなど懐かしの給食を味わいました



▶昔の遊びを通じ、子どもと地域との交流を深めました

切磋琢磨しながら 成長してほしい

進む少子化 現実とのとまどい

山本地区学校再編整備地域協議会の初代会長を務めた高木さんは、発足当時をこう振り返ります。

「少子化といわれる時代。先を見つめると『統合する方が子どもにとって良いのかな』という思いはありました。ですが、地域ごとに行われてきた行事はどうなるのか、地域コミュニティが薄れてしまわないかという心配もありました。また、会では子どもの安全面の問題などさまざまな意見が出され、とまどいも多くありました」

学校の象徴に 地域の声を聞きたい

高木さんは、会長の任期を終えた後も、校名や校章などを協議する総務部会の委員を務めています。



山本地区学校再編整備地域協議会 初代会長 高木一成さん(68)

「校名や校章は、小学校のシンボルとなるもの。そこには地域の皆さんの声を取り入れたかったんです。校名は町内在住者や卒業生などを対象に募集し、校章は部会で絞り込んだものの中から、アンケートを行い、選定しました。たくさんの方の応募があり、地域と一緒に前進していると感じましたね」

地域は一つに 子どもに願う郷土愛

高木さんは現在、山本町公民館財田大野分館長として、さまざまな地域活動を行っています。

「地域のつながりの希薄化は今後の課題です。学校と地域がしっかりと話し合っていく必要があるように感じます。」

協議会でさまざまな意見や問題が出されるなか、地域の子どもたちには切磋琢磨しながら成長してほしいと願う気持ちが強かったです。地域は一つに、子どもたちは、思いやりと郷土愛にあふれる人間に育ってほしいですね」

辻小学校

11月22日

空撮した学校の外観や運動会の様子など、1年間の出来事を上映。式典後の学習発表会では辻小学校の今と昔を表現した劇などが披露されました。



▲1年間の出来事をスクリーンに映して紹介

閉校記念式典



▲昔の写真を見せながら、これまでの歩みを振り返りました

子どもたちは4月から新しい学びやで、新しい制服を身にまとい、共に過ごします。それぞれの伝統と誇り、そして、これまでの感謝を胸に。

小学校は、教育の拠点であるとともに、地域の「心のよりどころ」でもあります。100年を超える歴史ある小学校で学んだことは、地域の明るい将来を担う子どもたちの自信です。

豊かな自然に囲まれた教育環境の中で、数多くの人材を輩出した伝統ある小学校の歴史は幕を下ろします。しかし、学校と地域が一つになって培ってきた種は、新小学校へと持ち寄られ、新たな歴史を咲き誇らせることでしょう。

地域の交通安全活動のリーダーとして、通学時の立哨など、献身的な活動を続ける交通指導員の皆さん。山本・財田地区では、4月に合わせて通学時に立哨する場所を検討するなど、子どもの安全確保に努めてくれています。



交通指導員
内田芳樹さん(73)

子どもの安全をどう守るか 危険箇所を入念にチェック

大野地区の交通指導員として、子どもが通学する日は毎朝、立哨する内田さん。地域の祭りの際も交通整理を行うなど、子どもと地域の安全を守る上で欠かせない存在です。

統合に向けた児童の通学路の確認など安全対策を協議する通学部会では、保護者や地域の代表者とともに山本地区の7人の交通指導員も加わり、一緒に検討を重ねてきました。

「私たちの役割は、第一に子どもの安全を見守っていくこと。どの場所が危険であるか、入念に話

し合ってきました」

子どもの心を和らげるため 自分たちができることは

統合を間近に、交通指導員の皆さんは、安全面以外でも何かできることはないかと考えました。

「新小学校になると、環境の変化から子どもに不安があると思います。保護者もそうです。その不安を少しでも和らげることができたらと考え、子どもに顔なじみの指導員を極力配置できるよう、検討しています」

みんなで協力し 笑顔の輪を広げよう

「4月からは、初めて見る子どもたちも増えます。笑顔で子どもたちとあいさつを交わしていきたいですね。保護者や地域の皆さんにも子どもの安全と安心のため、一緒に協力してほしいと思います。

子どもの笑顔は、私たちが元気にしてくれまます。子どもから保護者、地域へと笑顔の輪が広がっていくことを願っています。



河内小学校

11月22日

式典後の学習発表会では、豊かな自然と優しい地域の人に感謝の気持ちを込めて、児童が自分たちで調べた「ふるさと河内」について発表しました。



▲お世話になった地域の人に、全校生で感謝の言葉を述べました

閉校記念式典



▲楽しかった思い出や河内地区の伝説などについて、劇で紹介しました

「4月からはみんな一緒
ワクワクするね。」